

大社中学校教育環境整備事業校舎改築推進委員会（第1回）議事録

■日時 令和6年（2024年）7月3日（月） 10時～11時40分

■会場 大社中学校 新会議室

- 議題
- 1 総論・概要
 - 2 委員の紹介
 - 3 委員長・副委員長の選出
 - 4 課題・前提条件
 - 5 配置計画（案）
 - 6 今後の予定

■議事

1 総論・概要

<説明内容>

- ・ 本市の学校施設の状況は、昭和に建設された築30年以上の施設が全体の7割弱を占め、また、2割は築50年以上経過している。
- ・ 今後一斉に改築、改修時期を迎えることから、財政負担を平準化しながら対処していかなければならない。
- ・ 50～60年周期で改築を行う従来の方法では施設維持が困難で、原則80年間使用することを本市学校施設長寿命化計画においてまとめている。
- ・ 大社中学校は、昭和27年～30年代竣工の古い校舎が複数存在しているため、老朽校舎の解消が必要である。また、バリアフリーなどに対応した良好な教育環境の整備を目的として、校舎の改築を行う。

2 委員の紹介

3 委員長・副委員長の選出

4 課題・前提条件

<説明内容>

- ・ 令和6年度に基本計画を策定、令和7年度から令和9年度にかけて設計、令和9年度から解体・改修・改築・外構工事を行い、令和16年度に事業完了の見込み。
- ・ バリアフリー動線が確保できていない場所があること、トイレが湿式で老朽化していること、西棟が解放廊下型であること、老朽化した擁壁に囲まれていることなどが課題である。
- ・ 北棟以外の校舎は築60年を超えているため、改築対象とする。北棟は昭和59年建設・築40年のため、「西宮市学校施設長寿命化計画」上は築50年目に改修工事を行う対象だが、新校舎の配置によっては改築対象となる。体育館は昭和51年建設・築48年のため、改修対象とする。

<質疑応答>

委員：西側のバス通りの擁壁はやり替えるのか。

事務局：法的に適合していないものについてやり替える。

委員：歩道は広げるのか。

事務局：検討するが、財政上の問題もあるため法的に問題がなければ拡幅しない可能性もある。

委員：車いすで通っている生徒もいるため、バリアフリーも併せて考えていただきたい。防災についても、地域の方に来ていただき、避難所として使えるよう工夫いただきたい。

事務局：バリアフリー化は重要な課題と認識しているため、検討する。避難所についても、地域の方々にとって使いやすい場所を作るという視点も重要なため、参考にさせていただく。大社中学校の場合、北棟のエレベーターを起点にできる限りすべての部屋をバリアフリー化したいと考えている。

委員：教師の動線、緊急時の対応のため、校舎間に渡り廊下を整備いただきたい。

事務局：検討する。

委員：北棟の廊下側の窓ガラスが割れやすいため、替えていただきたい。

事務局：生徒の安全に関わることのため、検討する。

委員：大社中学校らしさとして、池の方にリンゴの木がある。震災で亡くなった生徒たちを忘れないために植えているため、残していただきたい。道徳の授業でも必ず触れるようにしている。

事務局：植樹が難しい木もあるため、リンゴの木が植樹可能か確認する。メタセコイアについても、施工上、校舎のそばに重機を持ってこないといけないため、抜かなければならないものもある。ご要望に沿えない場合もあるため、ご理解いただきたい。

委員：メタセコイアの落葉と根の干渉により排水溝がよく詰まるため、ぜひ校舎から離していただきたい。排水溝に根が入り込むと、排水できなくなる。

事務局：他の学校でも同じ現象が起きており、根の成長が建物の不具合の原因になる可能性も十分あるため、検討させていただく。

委員：メタセコイアについては、移植が難しければ、歴史を振り返ることができるよう、木を看板や記念のものにして提示する案もある。

委員：夙川小学校は、ステンドグラスを新しい校舎に移したり、すり減った階段をベンチに使ったりしている。そのように歴史を繋いでいけるものを作れば良いのではないか。

委員：温暖化で暑くなっているため、運動場にスプリンクラーを整備するのはどうか。

事務局：検討するが、部活動や体育の授業に影響ないか、維持管理を含めて十分な検討が必要である。

5 配置計画（案）

<説明内容>

- ・ 既存校舎を解体し、その跡地に新校舎を建設する場合（A案）、仮設校舎が必要。
- ・ 上段グラウンドに新校舎を建築する場合（B案）、工事期間中も既存校舎を使用できるため、仮設校舎は不要。
- ・ 下段グラウンドに新校舎を建設する場合（C案）、工事期間中も既存校舎を使用できるため、仮設校舎は不要。
- ・ 北校舎については、A案・B案の場合は新校舎の建設場所と近いため、改修工事を行う予定。C案の場合は新校舎の建設場所と距離が離れてしまうため、解体する見込み。

<質疑応答>

委員：どこに校舎ができるかによって正門の位置が変わるのか。

事務局：体育館と校舎の間を通れるようにすることで、正門の位置を変えない方法もある。ご意見を伺い、検討する。

委員：工事が終わる令和 16 年の生徒数はどれぐらいか。できれば同じフロアに 1 学年の生徒が入るような構造にしていいただきたい。最低でも 8 教室欲しい。

事務局：大社中学校の生徒数は増加傾向で、現在、21 学級ある。今の推計では、令和 13 年頃までは微増し 23 学級まで増える見込みだが、それ以降は減少し、令和 17 年度頃には 19 学級まで減る見込み。ただし、大規模なマンション建設等により変動する。生徒数の減少を見込んだ校舎の建築を検討するが、部屋が足りなくならないよう留意する。

委員：普通教室が廊下を挟んで対面になるのは、指導がしにくいため避けていただきたい。

事務局：コストの問題もあるが、できる限り普通教室が対面にはならないように検討する。

委員：A 案では、仮設校舎をどこに建てるのか。

事務局：上段グラウンドにある、現在のテニスコートの場所を予定している。

委員：B 案・C 案の場合は、今の校舎の場所にグラウンドやテニスコートを建てるのか。

事務局：その可能性が高い。次回以降、提示できればと思っている。

委員：C 案にすると校舎が下段、運動場が上段になるため、六甲おろしによる砂煙等、生徒たちの生活に支障をきたし兼ねない。校舎からの景観は、今は山が見えて気持ちのいい景色だが、下段グラウンドに建てるとその景色が見られない。災害時のことを考えると、上段に建てる方が安心である。

委員：B 案・C 案になった場合、目の行き届かない門ができると思われるため、予算の中で防犯カメラ、防犯対策についても考えていただきたい。

事務局：防犯カメラが必要であれば設置し、死角が無いような校舎配置にしたいと考えている。

委員：仮設校舎にコストがかかるため、仮設校舎を建てない方法ということで B 案・C 案が出てきたと思う。A 案を採用した際、建物の質が下がってしまわないか。逆に B 案・C 案を採用した場合、仮設校舎分のコストが浮いた分、何かプラスのものがあるのか。B 案・C 案だと、伝統のある大社中学校の良さが全部無くなり兼ねないため、心配である。

委員：下段グラウンドの階段の上から見る大社中学校の運動会は素晴らしいので、これは残してほしい。災害時のことを考えても、上段グラウンドに建てる方が安心である。

事務局：B 案・C 案を挙げた理由としては、最近物価が急速に上昇しており、5 年間で物価や建築資材が約 1.5 倍上がっていることにもよる。また、将来のことも見据えて、複合化や他施設との連携についても考える必要があるため、A 案だけでなく、B 案・C 案を提示している。まずは、神原小学校の体育館が昭和 30 年代の建物でかなり古いため、同体育館の改築についても、今後お話ししたいと考えている。

委員：下段グラウンドに校舎が建たなくても、正門から体育館を横切り、下段グラウンドに行くことができるように通路を整備していただきたい。体育大会などの行事ごとで、学校外から来られる方がこの場所を通れるようになると、バリアフリーを含めて移動がしやすいため、整備していただきたい。体育館は避難所になっているが、裏側の排水が悪く、

雨が降ったときは体育館の下はほとんど水浸しになっており、トイレが使用できない状況が続いている。

事務局：改築の中で排水関係は整備するため可能と思われるが、検討を進めた上で提示する。通路を作る件は、コストも含めて検討する。

委員：他施設との複合化とあるが、この校区もこれから高齢社会になるため、サービスセンターなどの複合化もできるのか。

事務局：他市では小学校や中学校を、そのような施設に転用することは多くある。

委員：高齢の人にも目を向けていただければと思う。

事務局：他市は、かなり児童生徒数が減っていて、統廃合の事例が多くある。西宮市の場合、児童生徒数は増加傾向だったが、最近、全市的に減り始めている。ただし、地域によっては増えているところもある。今すぐに複合化、統廃合は難しいが、その点も視野に入れた改築計画を考える必要がある。

委員：公民館との複合化という具体的な構想はあるのか。

事務局：現段階で具体的な構想はない。

委員：公民館と市民館を一緒にしてしまうのは違うと思う。

事務局：そのあたりも慎重に検討する必要がある。

委員：体育館について、神原小学校と合同の4階建てぐらいの大きいものを作り、プールも屋上に設け、一般の人も使えるようにしながら学校も使うというような、思い切った複合化があればと思う。

事務局：大社中学校の体育館は築48年のため改修を予定しているが、神原小学校の体育館は築60年を経過しているため、間もなく改築する必要がある。神原小学校体育館の改築を考える上で、プールがある場所に改築することもあり得るため、その場合はプールをどうするのかも併せて検討する必要がある。

委員：複合化を切り離して考えたほうが良いと感じた。今後複合化が可能になるよう考えるのは、イメージが湧きにくい。大社中学校は大社中学校で考えた方が良いと思われる。神原小学校の人数の推移はどうか。

事務局：この5、6年は18学級が続くような状態。他市で児童生徒数が急激に減っているところは思い切ったことをしているが、西宮市は最近減り始めたところであるため、今の時期に大きなことをしづらい状況である。ただ、10～20年後には減ってくる見込みのため、ご意見を参考にしながら検討する。

委員：生徒数が減ったとき、教室が余るという時代ではないと思っている。将来的には、40人学級が35人学級になる可能性もあり、今は個別対応が必要な生徒もいるとなると、むしろ多くの教室が必要。それなら、部屋を区切ったり、広げて使えるようにする等の発想も欲しい。B案については、北門寄りのところに校舎ができると、神原小学校を建て替える際に、小学校と中学校が離れてしまう。他市を見ると、概ね義務教育学校になっており、近いところにあると将来的に一貫校にしやすい。西棟北が工事エリアに入っているということは、その間使えないということか。

事務局：検討のうえ、次回以降提示する。

委員：西棟北が使えないと教室が足りない。また、B案・C案については、給食車両と工事車両の動線が錯綜するため、工事と給食、両方の車両動線の確保は結構厳しいと思う。

事務局：検討のうえ、次回以降提示する。

6 今後の予定

- ・ 次回の推進委員会は令和6年9月に開催予定。